

(1) 西 窪 發 電 所 全 景。

東信電氣西窪發電所と島河原變電所

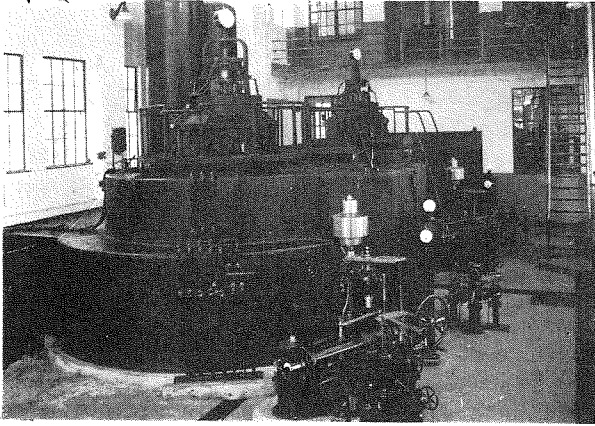
かねて工事中だつた東信電氣株式會社の西窪發電所と島河原變電所が舊冬十二月に竣成して何れも十二月一日から運轉を開始した。

西窪發電所は群馬縣吾妻郡嬭戀村大字大笹地内で、大小九個の堰堤により吾妻川本流、同支流三ツ子澤川、コブ澤川、大横川、權現澤、小横川、馬洗川、千俣川等の水を取入れて、最大22,818K.W.(常時12,734K.W.)を發電するもの。使用水量最大11.97立方米/秒、常時6.68立方米/秒、總落差207.727米で有効落差は194.52米である。發電所は田代發電所の下流に位し、放水口は下流の今井發電所沈砂池内に開いてゐる。

發電の機械設備としては、豎軸單放渦卷水車2臺、發電機(水車直結出力10,000K.V.A)

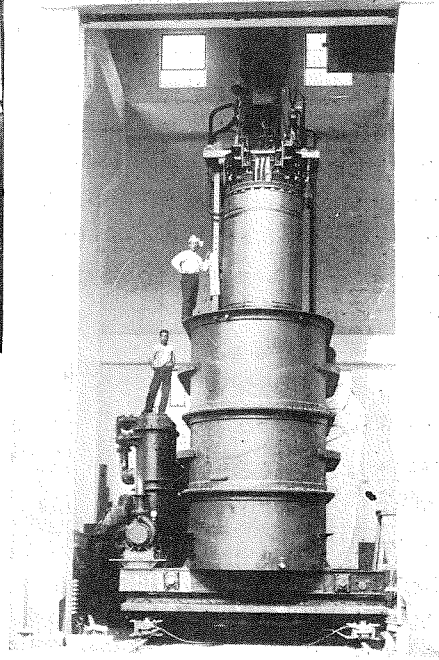
2臺あり、何れも常用1臺で1臺は豫備である。此他勵磁機、變壓機等何れも製作は日立製作所である。

西窪發電所の運轉開始と共に、同社島河原變電所も竣功して使用を開始した。同變電所は長野縣北佐久郡北御牧村大字島河原にあり、島河原發電所の下流に當る。此變電所で、上流に設けられた穂積、海瀬、小諸、島河原等の電力を、上信送電線によつて淺間、白根等の上信山岳を越えた田代、西窪、今井、羽根尾、大津等の電力が變壓され、電力の需要に応じて東西に送電されると云ふ。以上工事の詳細は同社技師遲塚安三氏から寄稿がある筈だが、目下現場は積雪の爲寫眞の撮影が出来ない爲、解雪期を待つ事にする。



(2) 西窪發電所發電機室。

(3) 島河原變電所內部。



(4) 島河原變電所全景。

